

第5次拡張事業 第1期 (昭和46年度～50年度)

竜門ダムの水利権取得

第4次拡張事業によって一応給水は安定しましたが、折からの高度経済成長の波にのり住宅の新築、立花台地(2,300人)や栄町(1,100人)など住宅団地の造成、加えて生活様式の急激な変化から、水需要も大幅に増えつづけ、昭和44年9月には15日間にわたり9時間断水という厳しい状況に直面しました。



立花台地の住宅街

そこで、「断水のない水道」を新たな目標に、有田川支流の広瀬川上流に県営多目的ダムとして建設される竜門ダム(有田町)に費用負担を行うことで水利権を確保しました。ダムから浄水場まで9.6kmに及ぶ導水管の布設、浄水場の拡張、大容量の配水池の建設などを、第5次拡張事業の第1期工事として実施しました。

この結果、有田川と合わせて日量22,000m³の水量を確保し、渇水期の水不足は解消されました。



容量4,730m³の2号配水池建設状況

第5次拡張事業 第2期 (昭和53年度～56年度)

排水処理施設の整備

水質汚濁防止法の改正により1日当り配水能力10,000m³を超える施設は、特定施設として排水処理施設の設置を義務づけられたため、ろ過濃縮装置を備えた凍結融解方式の污泥処理施設を整備しました。

また、第2期工事で取水施設、浄水施設を増設しました。



排水処理施設・機械据付

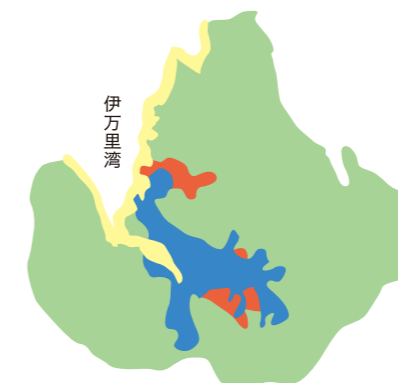


導水管(第4水管橋)の設置工事風景(1期工事分)



建設中の浄水施設(1期工事分)

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



第5次拡張

第5次拡張事業	
計画給水人口	43,000人
計画1日最大配水量	23,650m ³
計画1日1人給水量	550%
1期	
着工年月	昭和46年4月
竣工年月	昭和50年6月
総事業費	2,269,406千円
2期	
着工年月	昭和53年4月
竣工年月	昭和57年3月
総事業費	413,474千円